

宇多津町学校施設長寿命化計画

令和3年3月

宇多津町教育委員会

目 次

1 学校施設の長寿命化計画の背景・目的等	1
(1) 背景	1
(2) 目的	1
(3) 計画期間	2
(4) 対象施設	2
2 学校施設の目指すべき姿	2
(1) 安全・安心な学校施設	2
(2) 学習環境の向上	2
(3) 地域に開かれた学校づくりと地域防災の拠点	2
3 学校施設の実態	2
(1) 児童生徒の推移・見通し	2
(2) 学校施設の現状	2
(3) 学校施設の老朽化状況の実態	6
(4) 学校施設維持・更新コストの試算	11
4 学校施設整備の基本的な方針等	13
(1) 学校施設の長寿命化計画の基本方針	13
(2) 維持管理の手法等	13
(3) 学校施設の規模・配置計画の方針	13
5 改修等の具体的な進め方	13
(1) 改修等の優先順位付け	13
(2) 今後の実施計画	13
6 長寿命化計画の継続的運用方針	14
(1) 情報基盤の整備と活用	14
(2) 推進体制等の整備	14
7 参考資料	14

1 学校施設の長寿命化計画の背景・目的等

(1) 背景

平成 25 年 11 月、「インフラ長寿命化基本計画」(インフラ老朽化対策の推進に関する関係省庁連絡会議決定)において、各インフラの管理者及び当該インフラを所管する国や地方公共団体の各機関は、インフラの維持管理・更新等を着実に推進するための中期的な取組の方向性を明らかにする計画として、「インフラ長寿命化計画(行動計画)」を策定することとされました。地方公共団体は、このことを踏まえ、域内のインフラ全体における整備の基本的な方針として「公共施設等総合管理計画」(以下、「総合管理計画」という。)を策定することとなっています。

さらに、各地方公共団体は、総合管理計画に基づき、個別施設毎の具体の対応方針を定める計画として、個別施設毎の長寿命化計画(個別施設計画)を策定することとされました。

このうち、特に、域内の学校施設を対象として、基本的な方針に基づく実際の整備内容や時期、費用等を具体的に表す計画を、「学校施設の長寿命化計画」とされています。

本町の学校施設は、平成 24 年度までに耐震化が完了していますが、築 30 年以上の建物が全体の約 53%を占めており、学校施設の老朽化が進行しています。学校施設は子どもたちの学習・生活の場であり、学校教育を行うための基本的な教育条件であるため、充実した教育活動を存分に展開できるよう、機能的な施設環境を整えるとともに、豊かな人間性を育むのにふさわしい、快適で十分な安全性、防災性、防犯性や衛生的な環境を備えた安全・安心なものとする必要があります。また、地域住民にとって最も身近な施設であり、生涯にわたる学習、文化、スポーツなどの活動の場として、地震等の非常災害時には避難所としても重要な役割を担っているため、必要に応じ他の文教施設や高齢者福祉施設との連携の推進や防災機能の強化を図る必要があります。そのため、学校施設の老朽化対策は重要な課題です。

そこで、平成 29 年 3 月に策定された「宇多津町公共施設等総合管理計画」に基づいて町内の学校施設を対象とした個別施設計画として「宇多津町学校施設長寿命化計画」を策定することしました。

(2) 目的

本計画策定の目的は、「宇多津町公共施設等総合管理計画」に基づいて、町内の学校施設の老朽化等の状況を把握し、学校施設の役割を考慮した上で、中長期的な維持管理等に係るトータルコストの縮減及び予算の平準化を図りつつ、こうした学校施設に求められる機能・性能を確保することです。

(3) 計画期間

本計画は、令和 2 年度（2020 年度）から令和 42 年度（2060 年度）までの 40 年間とし、原則として 5 年ごとに計画全体の見直しを行うとともに、改修等の具体の実施校については、毎年度、設定していきます。

(4) 対象施設

本計画の対象となる学校施設は、小学校 2 校、中学校 1 校の計 3 校の校舎及び体育館等とします。幼稚園は今後の少子化の影響や保護者の働き方の変化等により施設の形態や対象年齢等含めた議論が必要となるため対象施設としない。

2 学校施設の目指すべき姿

これまでは校舎などの耐震化を最優先課題に位置付けて取り組んできましたが、今後は建物の老朽化対策はもちろんのこと、時代のニーズにも対応しつつ、学校施設の長寿命化を図ることを基本として、施設整備を進めていきます。

(1) 安全・安心な学校施設

- ① 児童生徒が一日の大半を過ごす重要な学習・生活の場として、安心して学校生活が過ごせるよう、防災や防犯、安全性に配慮した施設整備を図ります。
- ② 障がいの有無に関わらず安心して学校施設を利用できるよう、バリアフリー化を目指します。

(2) 学習環境の充実した施設

多様な学習内容・形態や I C T（情報通信技術）環境など、今後求められる学習形態に柔軟に対応できる学習環境を整備します。

(3) 地域に開かれた拠点施設

学校施設は、地域住民や地域で活動する様々な団体の生涯学習活動や地域活動の場としての役割も期待されています。学校と地域が連携・協働し、地域に開かれた学校づくりを推進するとともに、災害時における地域の防災拠点、避難所としての役割を担う学校施設として、災害時の対応に配慮した施設整備を進めます。

3 学校施設の実態

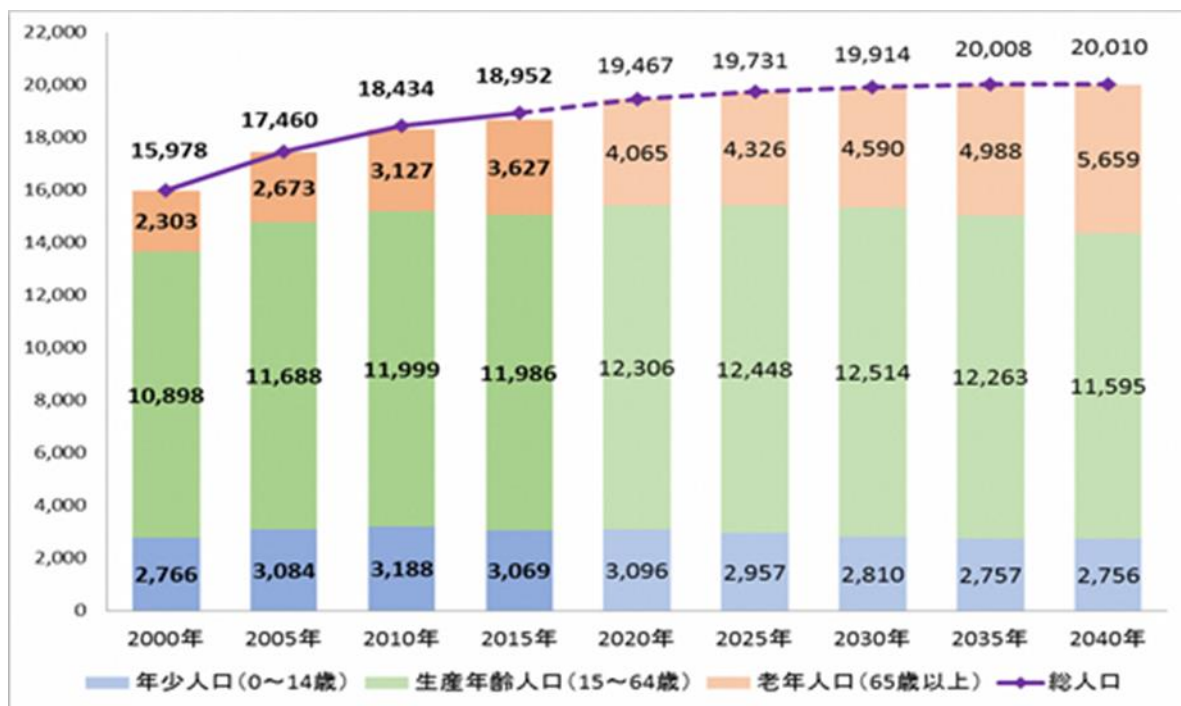
(1) 人口の推移・見通し

平成 27 年に策定された「宇多津町まち・ひと・しごと創生 人口ビジョン編」では、今後、総人口は増える見込みですが、中学校までの修学年齢となる 14 歳以下の年少人口は 2020 年をピークに減少していき、一方で高齢人口は大きく増加すると推計されています。

図 1 では、2015 年までは国勢調査による実績値、2020 年から 2040 年までは人口ビジョンでの推計値を示しています。

■図1 宇多津町の人口推移・見通し

(2000年～2015年実績値、2020年～2040年推計値)



(2) 学校施設の現状

① 学校施設の児童生徒数及び学級数

本町は、香川県の中讃地方の瀬戸内に面した中央にあたり、東の坂出市と西の丸亀市に隣接した位置にあります。北部に市街地、南部に田園地帯が広がり、これを取り囲むように青の山、聖通寺山、角山が位置しています。

さぬき浜街道や国道11号線、権道33号線が東西を走り、JR宇多津駅は本州と四国を結ぶJRの分岐点となっており、交通の便もよく、8.1平方キロと小さいながらも人口の増加率も県内トップとなっています。

かつては、広大な塩田が広がっていた地域は新宇多津都市と呼ばれ商業施設や高層マンションが建ち並び発展しています。その地域に平成3年宇多津北小学校が建設され、現在の2小学校、1中学校(図4参照)の学校規模となっています。

平成28年から令和2年までの5年間の児童生徒及び学級数の推移(図3)を見ると児童生徒数で191人が学級数で8クラスの減となっています。図1からも14歳以下の人口が20年間で約1割減少すること予測されていることから人口推計に沿った学校規模を維持しながら施設改修等が必要となっています。

■図 2 宇多津町の学校施設の現状

令和 2 年 5 月 1 日現在

施設名	所在地	児童生徒数			学級数	
		通常	特別支援	計	通常	特別支援
宇多津 小学校	宇多津町 815 番地	395	16	411	14	3
宇多津 北小学校	宇多津町 浜八番丁 115 番地	563	16	579	18	3
宇多津 中学校	宇多津町 3302 番地	484	8	492	15	2
計	—	1442	40	1482	47	8

■図 3 宇多津町の学校施設ごとの児童生徒数及び学級数の推移

5 月 1 日現在

施設名	児童生徒数推移						学級数推移					
	H28	H29	H30	R1	R2	R2- H29	H28	H29	H30	R1	R2	R2- H29
宇多津 小学校	454	457	439	417	411	△43	19	19	18	18	17	△2
宇多津 北小学校	685	636	621	599	579	△106	25	23	24	23	21	△4
宇多津 中学校	534	533	495	491	492	△42	19	19	17	16	17	△2
計	1673	1626	1555	1507	1482	△191	63	61	59	57	55	△8

■図 4 施設関連経費の推移

	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	R 元年度	5 年平均
施設整備費	43,801,560	21,542,760	19,171,080	42,394,306	153,692,760	56,120,493
その他施設整備費		4,846,000				462,200
維持修繕費	7,586,070	6,862,323	4,831,492	4,498,626	4,306,684	5,617,392
光熱水費・委託費	33,903,044	34,532,253	34,688,043	36,610,397	43,000,643	36,546,876
施設関連合計	85,290,674	67,783,336	58,690,615	83,503,329	201,000,087	99,253,608

■ 図5 宇多津町内公立小中学校配置図

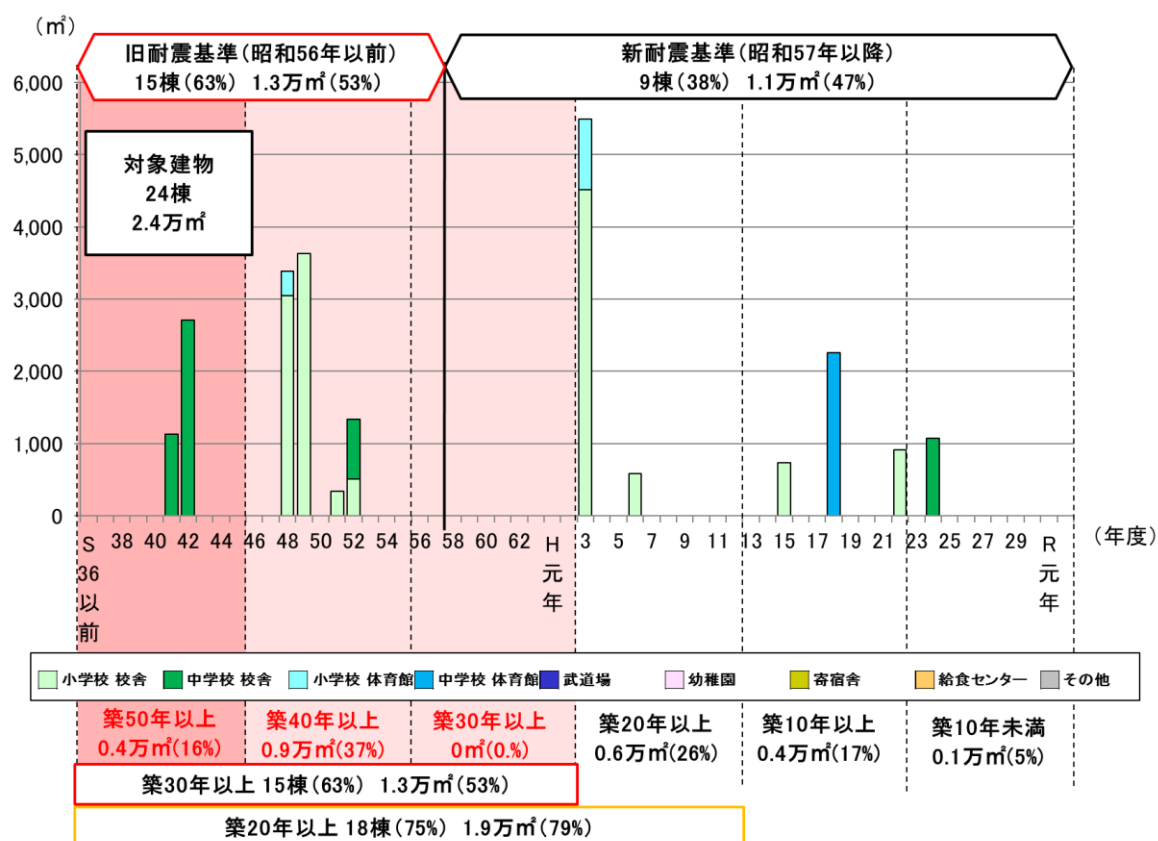


② 学校施設の保有量

学校施設の対象建物は24棟で、延床面積は約24000㎡です。このうち、旧耐震基準（昭和56年以前）の建物は15棟で、全体の63%を占めています。

なお、平成19年度までに実施した耐震診断により、補強工事が必要な施設（Is値0.7未満1の校舎、体育館等）は耐震化を完了しています。

築年別整備状況



(3) 学校施設の老朽化状況の実態

「学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書」（平成29年3月文部科学省）を参考に、構造躯体の健全性及び構造躯体以外の劣化状況等の評価を行いました。

① 構造躯体の健全性の評価

建物の築年数、コンクリート圧縮強度等を用いて評価した結果、旧耐震基準の建物のうち、鉄筋コンクリート造の建物はいずれもコンクリート最低圧縮強度（13.5N/㎟）を超えており、鉄骨造の建物はいずれも著しい腐食や劣化はないことが確認されました。

このことから、構造躯体の健全性については、新耐震基準の建物を含め全て長寿命化に適する建物と評価しました。

イ 健全度の算定

健全度とは、各建物の5つの部位について劣化状況を4段階で評価し、100点満点で数値化した評価指標です。①部位の評価点と②部位のコスト配分を次のように定め、③健全度を100点満点で算定しました。

【健全度の算定】

①部位の評価点	
	評価点
A	100
B	75
C	40
D	10

②部位のコスト配分	
部位	コスト配分
1 屋根・屋上	5.1
2 外壁	17.2
3 内部仕上げ	22.4
4 電気設備	8.0
5 機械設備	7.3
合計	60

③健全度
総和（部位の評価点 × 部位のコスト配分） ÷ 60
※ 100点満点にするためにコスト配分の合計値で割っている。
※ 健全度は、数値が小さいほど劣化が進んでいることを示す。

部位	評価		評価点	×	配分	=	
1 屋根・屋上	C		40		5.1		204
2 外壁	D		10		17.2		172
3 内部仕上げ	B		75		22.4		1680
4 電気設備	A		100		8.0		800
5 機械設備	C		40		7.3		292

計 3,148

÷ 60
健全化度 52

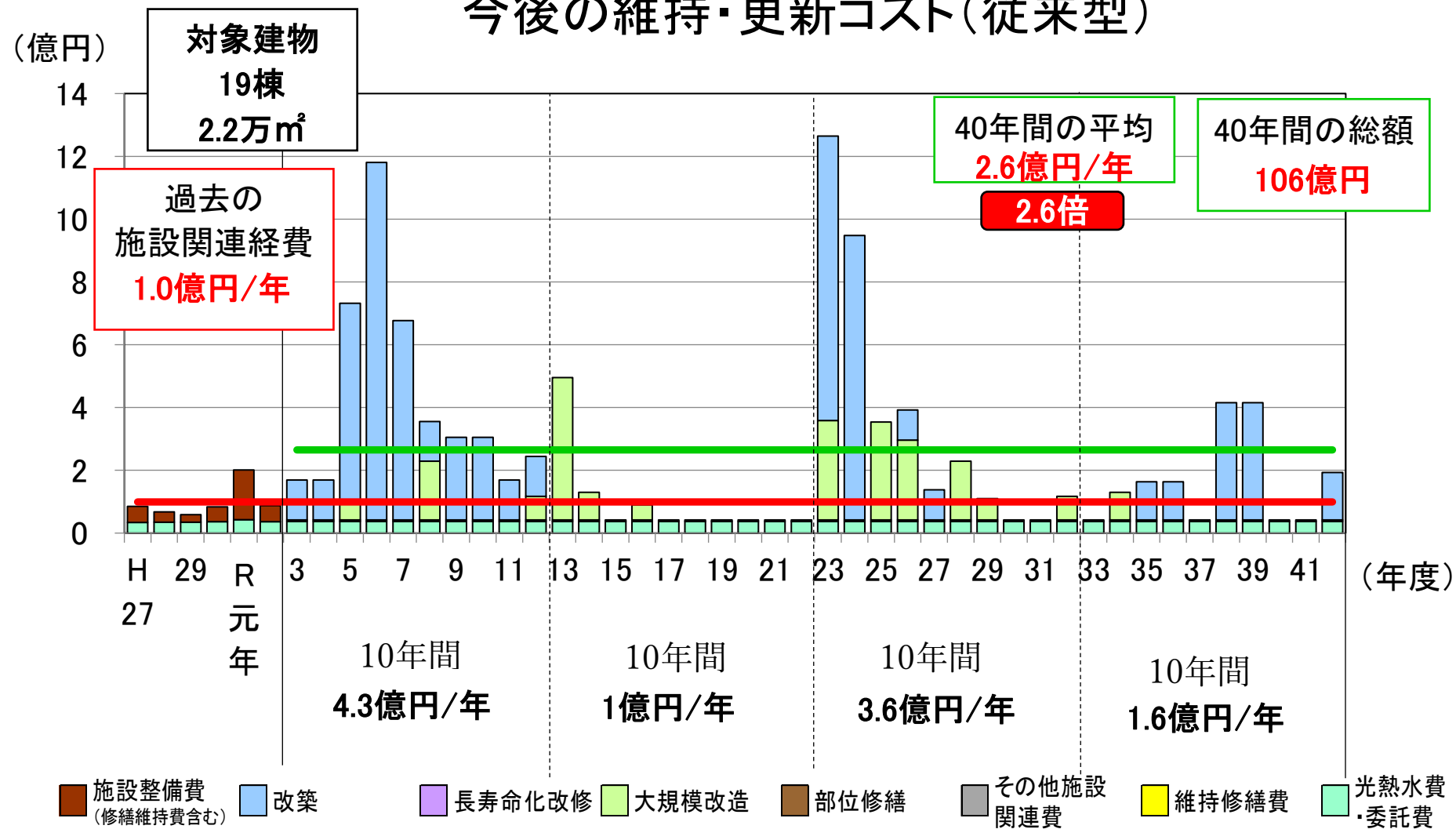
■建物情報一覧表

 : 築50年以上
 : 築30年以上
 基準 2020

A : 概ね良好
 C : 広範囲に劣化
B : 部分的に劣化
 D : 早急に対応する必要がある

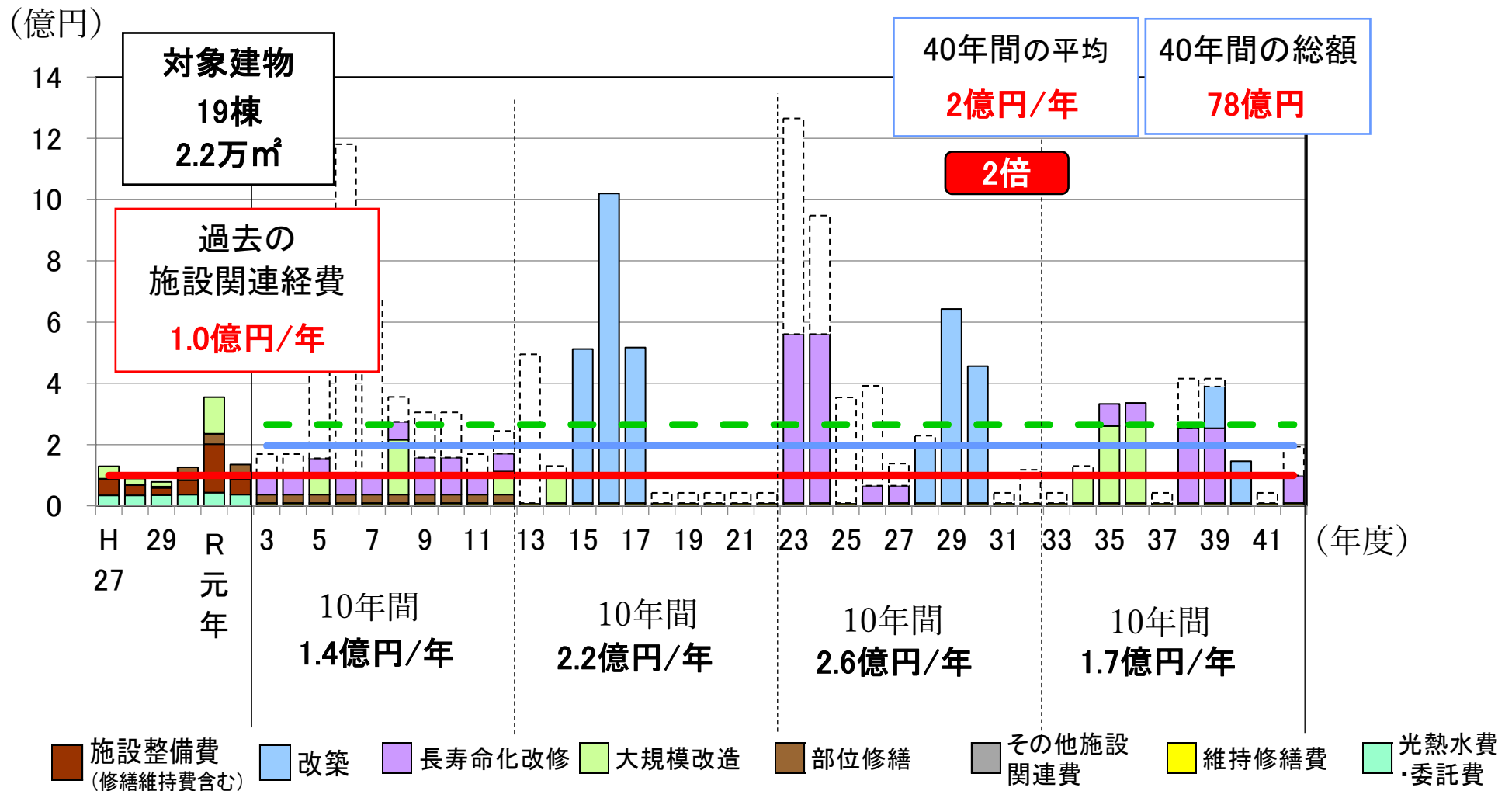
建物基本情報														構造躯体の健全性						劣化状況評価						備考
通し 番号	学校 調査 番号	施設名	建物名	棟番号	固定資 産台帳 番号	用途区分		構造	階数	延床 面積 (㎡)	建築年度		耐震安全性			長寿命化判定			屋根・ 屋上	外壁	内部 仕上	電気 設備	機械 設備	健全度 (100点 満点)		
						学校種別	建物用途				西暦	和暦	築年 数	基準	診断	補強	調査 年度	圧縮 強度 (N/㎡)							試算上 の区分	
通し 番号	学校 調査 番号	施設名	建物名	棟番号	固定資 産台帳 番号	学校種別	建物用途	構造	階数	延床面 積	西暦	和暦	築年 数	基 準	診 断	補 強	調 査 年 度	圧 縮 強 度	試算上 の区 分	屋 根	外 壁	内 部 仕 上	電 気 設 備	機 械 設 備	健全度 (100)	備考
1	2516	宇多津小学校	校舎	001		小学校	校舎	RC	2	1,160	1973	S48	47	旧	済	済			改築	A	A	C	C	A	70	
2	2516	宇多津小学校	校舎	003		小学校	校舎	RC	2	1,073	1973	S48	47	旧	済	済			改築	A	A	C	C	A	70	
3	2561	宇多津小学校	校舎	005		小学校	校舎	RC	2	547	1974	S49	46	旧	済	済			要調査	A	A	C	C	A	70	
4	2561	宇多津小学校	校舎	009-1		小学校	校舎	RC	2	3,082	1974	S49	46	旧	済	済			改築	A	A	C	C	A	70	
5	2561	宇多津小学校	校舎	009-2		小学校	校舎	RC	1	342	1973	S48	47	旧	済	-			改築	A	A	C	C	A	70	
6	2561	宇多津小学校	校舎	009-4		小学校	校舎	RC	1	284	1973	S48	47	旧	済	-			改築	A	A	C	C	A	70	
7	2561	宇多津小学校	校舎	009-5		小学校	校舎	RC	1	190	1973	S48	47	旧	済	-			改築	A	A	C	C	A	70	
8	2561	宇多津小学校	プレイルーム	009-6		小学校	校舎	S	1	508	1977	S52	43	旧	済	-			要調査	A	A	C	C	A	70	
9	2561	宇多津小学校	通路	010		小学校	校舎	RC	2	189	1976	S51	44	旧	済	-			要調査	A	A	C	C	A	70	
10	2561	宇多津小学校	通路	011		小学校	校舎	RC	2	149	1976	S51	44	旧	済	-			要調査	A	A	C	C	A	70	
11	2561	宇多津小学校	第一体育館	012		小学校	体育館	S	2	336	1973	S48	47	旧	済	済			要調査	A	A	C	C	A	70	
12	2562	宇多津北小学校	校舎	001-1		小学校	校舎	RC	2	4,518	1991	H3	29	新					長寿命	B	C	B	B	B	65	
13	2562	宇多津北小学校	校舎	001-2		小学校	校舎	RC	2	580	1994	H6	26	新					長寿命	B	C	B	B	B	65	
14	2562	宇多津北小学校	給食搬入口	001-3		小学校	校舎	RC	1	23	1995	H7	25	新					長寿命	B	C	B	B	B	65	
15	2562	宇多津北小学校	体育館	002		小学校	体育館	RC	2	973	1991	H3	29	新					長寿命	B	B	B	B	B	75	
16	2562	宇多津北小学校	校舎	006		小学校	校舎	RC	3	672	2003	H15	17	新					長寿命	A	A	A	A	B	97	
17	2562	宇多津北小学校	職員室	007		小学校	校舎	RC	1	62	2003	H15	17	新					長寿命	A	A	A	A	B	97	
18	2562	宇多津北小学校	職員室	008		小学校	校舎	RC	1	50	2010	H22	10	新					長寿命	A	A	A	A	B	97	
19	2562	宇多津北小学校	校舎	009		小学校	校舎	RC	2	864	2010	H22	10	新					長寿命	A	A	A	A	B	97	
20	5061	宇多津中学校	校舎	001-1		中学校	校舎	RC	3	1,128	1966	S41	54	旧	済	済			長寿命	A	A	A	C	C	85	
21	5061	宇多津中学校	校舎	001-2		中学校	校舎	RC	3	2,199	1967	S42	53	旧	済	済			長寿命	A	A	A	C	C	85	
22	5061	宇多津中学校	校舎	001-3		中学校	校舎	RC	3	514	1967	S42	53	旧	済	済			長寿命	A	A	A	C	C	85	
23	5061	宇多津中学校	校舎	001-4		中学校	校舎	RC	3	826	1977	S52	43	旧	済	済			長寿命	A	A	A	C	C	85	特別教室増築
24	5061	宇多津中学校	体育館	006		中学校	体育館	S	2	2,263	2006	H18	14	新					長寿命	A	A	A	A	A	100	
25	5061	宇多津中学校	校舎	007		中学校	校舎	RC	3	1,069	2012	H24	8	新					長寿命	A	A	A	A	A	100	

今後の維持・更新コスト(従来型)



※試算条件：改築50年 大規模改修 20年

今後の維持・更新コスト(長寿命化型)



※試算条件：改築年60年 長寿命化 50年その後の改築80年 大規模改修 20年

4 学校施設整備の基本的な方針等

(1) 学校施設の長寿命化計画の基本方針

本計画は、建物の著しい劣化や危険な状態が確認されてから改修工事を行う「事後保全型」ではなく、あらかじめ建物の状況を検証し、優先順位を見定め、適切な時期に必要な改修工事を行うことを基本とした「予防保全型」の維持管理を徹底することにより、学校施設に求められる機能及び性能を確保し、できるだけ長く利用していくことを基本方針とします。

宇多津小学校においては、建築時の学校規模と現在の生徒数の学校規模の差が大きいことから等から長寿命化でなく規模を縮小しての改築として計画しています。

(2) 維持管理の手法等

長寿命化を図るためには、日常的、定期的な施設点検や清掃を確実に行う必要があります。法令で義務付けられている建築基準法第 12 条点検のほか、設備機器の定期点検等を行うことで劣化箇所や危険箇所を早期に発見し、適切な修繕を実施します。

(3) 学校施設の規模・配置計画の方針

当町では、平成 24 年度までに宇多津北小学校において 2 回の増築、宇多津中学校で 1 回の増築を行い児童生徒の増加に対応してきました。今後は、児童生徒数が減少傾向にあると推察されていますが、現在の 1 中学校 2 小学校を児童生徒数に沿った規模とし、維持していく考えです。

5 改修等の具体的な方針

(1) 改修等の優先順位付け

改修等の優先順位付けの基本的な考え方は、次のとおりです。

- ① 本計画における劣化状況評価に基づき、健全度が低い施設と D 評価の部位を優先して改修等を実施します。
- ② 建築年が古い施設から改修等を実施します。

(2) 今後の実施計画

令和 3 年度（2021 年度）以降については、現況も勘案しつつ、改修等の修等の優先順位付けを基本に、毎年度、改修内容及び実施校を設定します。

なお、改修等に当たっては、国の補助金等を効果的に活用し、財政負担財政負担の軽減に努めます。

6 長寿命化計画の継続的運用方針

(1) 情報基盤の整備と活用

公立学校施設台帳と併せて、改修・修繕履歴や劣化状況等を保管・蓄積することにより、本計画の推進に活用します。

(2) 推進体制等の整備

本計画の推進に当たっては、学校、関係部署、専門業者等と連携し、改修内容の検討や計画の進捗管理などを行います。

【参考】

■学校の沿革

宇多津小学校

- S48. 5 宇多津小学校現在の位置に完成
- S50. 7 プール竣工
- H23. 11 旧管理棟・プレイルームの耐震工事完了
- H24. 11 教室棟・中央廊下の耐震工事完了
- H26. 3 町民体育館(小学校体育館として使用)耐震工事完了
- H30. 10 給排水管改修工事完了
- H31. 3 消火配管
- R1. 屋根防水及び外壁修繕工事完了
- R1. 児童用トイレ増築工事完成

宇多津北小学校

- H3. 4 宇多津北小学校開校
- H15. 2 増築工事竣工
- H23. 3 新校舎増築竣工
- H23. 8 空調設備完備
- H27. 8 児童用トイレ改修完成
- H28. 8 体育館、プール女子トイレ等改修工事完成

宇多津中学校

- S42. 3 宇多津中学校現在の位置に完成
- S43. 1 体育館完成(現在 総合型施設として社会体育で活用)
- S52. 4 普通・特別教室増築完成
- H7. 8 音楽室・被覆室・調理室・リフト・トイレ改修工事完成
- H18. 4 新体育館完成
- H21. 9 校舎耐震工事完了
- H24. 8 校舎増築完了・移転
- H29. 10 校舎中庭側校舎外壁改修工事完了